京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

●慶尚南北道農業觀察雜感（二）

揖變生 寄

私は七月下旬渡鮮して京釜沿線及金海昌寧、善山、永川、慶州、延日、興海及蔚山各郡の農業を觀察して釜山に到りたるなり（記者云、此所には一説として掲ぐるなり）

◎私は時大なる朝鮮農業の利益あると言ふ事に誤られたるを實驗上悟りたり道路の不完全な爲に米價の廉價なると米質の粗惡なると收穫量が統計上に表示せらるゝものより低きことを發見申候

◎言ふまでもなく道路不完全なることは甚しく故に僅かに市場を距るに從ひ米價の懸隔甚しく永川郡にては籾一石五圓二十錢なるに慶州は六圓六十錢の相場なり（其距離六里）大邱は八圓九十錢なり而して米價の不同は土地の價額をも不同ならしめざる可からざる中に内地人の買占めが一般鮮人をして價額を釣上せしめて米價の不同に一致せず如何なる邊陬の土地、交通不便なる土地も一斗落四十圓内外を唱へ居れり

◎米質の粗惡なることは甚しきものにて籾一石の仕上は白米三斗二升なり砕米多く小石混交しあるを以て内地向とするには米種の改良を求めざるべからず然るに鮮人は賣出すよりも食料に供するものなれば米質の善良より收穫の多額を望みて米價の高からんよりは買袋の要求を充すに急なれば目下の情態では米種の改良は行はれざることを見たり地主は同樣に小作人に委せるに小作料は打租（折半）なれば是れ又收穫の多きを欲して小作料の減少は小作人の變更の原因となるを以て小作人は改良を爲すの餘地なきなり（つゞく）

面及洞に關する慣例制度（六）

（朝鮮總督府調査）

第一項 機關の組織

面行政の擔當者を面長とし面行政の執行を補助するものを書記とし面の雜役に服するものを下有司と稱し郡衙と面との間に於ける公文書の逓送に任ずるものを面主人又は坊主人食主人と稱し面外面内の租税徴收事務のもの公錢領收員あり（仁川府内面にては書記通譯幹事等を置き釜山附近の面にては書記雇事務員等を面行政の執行補助者として置けり）

洞行政の擔當者を洞長又は里長と稱し面又は洞行政の諮問に應ずるものを頭民、執綱、解事人、又は知事人、洞長（里長を置く所）有力者有志者にして洞事務の執行を補助するものは釜山附近の面内洞に於て書記又は事務員を置くも他は多く之れを置かず租税徴收事務のものは之を任員、公員と呼び公錢領收員の補助をなし洞の雜役に服するものは甲午前と同じく種々の名稱を用ゆ

議事機關としては面會あり洞會あり面會は甲午前の如く面長洞長解事人頭民有力者の會合にして人員の定めなく洞會は洞長（里長）頭民解事ハ有力者等の會合なり

第二項 職員の任免及職務權限

（一）面の機關

一、面長

面は新羅及高麗の初代に在りては村と稱したるが如く其機關としては新羅時代には大監小監あり高麗時代には村正村長あり其村の村政を掌り後ち郷と稱せし時代に於ては郷正ありて其郷の大小公事を掌る李朝の初め面に勸農官を置くとあり其後何時しか前掲の執綱以下種々の名稱を用ゆるに至り甲午後面の代表者たるの意味を以て變して面長と稱するに至り遂に一般の稱呼となれるものゝ如し而して官撰或は民撰一定せざりしを甲午條規は民撰と定めたるも地方官の私曲上其任免を專らにせり顧問制度以來郡守之を任命する慣例を生じ其任期之を定めざるを普通とす其職務の重なるものは次號に掲記すべし

雜報

●九月中の京城金融

京城日本人商業會議所調査

八月來稍や多繁の氣配を持續せる京城金融界は時節柄多少市場に活氣を添へたる折柄米作の豫想も略ぼ確定し前年に比し約百三十餘萬石增收の見込なるを以て幾分一般の人氣を強ふし事業の勃興を促すに至り漸次資金の需要を增加し加ふるにシーチングは前月に比し約四割方の輸移入增加にして其結果各銀行とも預金は減少貸出は增加の傾向を示し殊に朝鮮銀行券發行高は初旬に於て二千七百餘万圓を唱へたるに下旬に於ては二千五百六十九萬餘圓に減少せり是れ月初に於て總督府に二百五十萬圓の貸出をなしたるに因る尤も此貸出金の大部分は未だ金庫に存在するも幾分は市場に散布され多少一般の購買力を增進せしめたるは事實也又同銀行に於て本月中買入れたる恩賜公債は五十六万餘圓に上り總計約五百万圓に達せんとす是れ鮮人の債券思想に乏しき現金の重要せらるゝ片面を表示したるものと云ふべし過去數箇月に亘り繼續したる金融緩漫の時期は今や已に經過し漸く緊縮の時期に入れるは爭ふ可からざる事實なりとす元來下半期に於ける金融は七、八、九を月節に繁忙の狀態を示すは毎年の例にて本年も其例に漏れず漸次繁忙を呈しつゝあり而して金利は强含みのまゝ保合の姿にて越月せり

外事一束

△佛國 内閣會議は獨外相の協定案を認諾せり摩國問題は愈々近く決定せん

△葡國 王黨四千名武裝して葡國内に侵入したるも共和政府は動揺せざるべし

△歐州 諸强國取引所及金融社會は平靜に復したり獨帝國銀行の如き甚活潑也

△在アラビヤ土國陸軍は亞弗利加の伊領トリポリ占領の命を受け進發す

△土耳 其皇帝モハメッド五世專局を深憂、病氣に罹らせらると維那來電す

△トリ ボリ要塞司令官は三日正午迄降服如何の回答を猶豫の通知に接すと

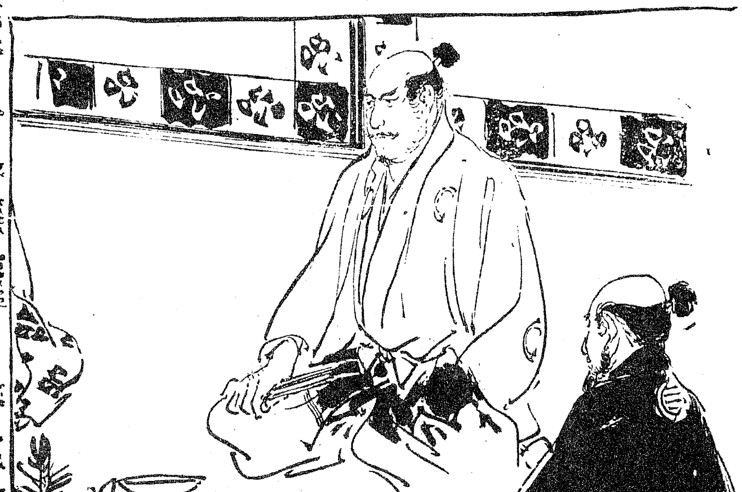
△伊太 利地中海艦隊司令長官はプレヴエ總督に對し降服か砲撃かの通告發

△伊土 講和條件として土政府はトリポリの宗主權を握り實權を讓與し又伊政府は英國の例に倣ひ土政府に毎年一定の報償金を支拂ふ事とならんと

梁川庄八（やながはしやうはち）

第五回 小金井蘆洲演

關ヶ原の戰が終了と俱に、此戰爭も鎮定を致しまして、上杉景勝は石田三成に内應して兵を動かしたる廉により奥州會津の城は徳川家に取上げられ、羽前の置賜郡米澤に於て三十萬石を一子彈正定勝に下し置かれ、景勝は隱居仰付けられました、常陸國水戸の城主佐竹左中將義宣も上杉と合体の廉を以て八十萬石を召上げられ、出羽國秋田へ國替となり、二十四萬石に減せられ、又磐城平の城主磐城左京亮も會津及び水戸と好誼を通じ、心を併せましたる廉にて、奥州磐城平十八萬石を取上げられ、出羽國由田四萬石に國替となりました、是に引換へて伊達家は此度の戰功拔群の廉、並に徳川家へ對し御忠節の次第、淺からざるに依りまして、上杉家より削り取た丈の領地を殘らず賜はりました、是迄は左程の諸侯ではなかつたので有ますが、急に倍高程の領地を得られましたので、伊達家は俄に大身と相成ました、然れば此度の合戰に功名手柄を顯はしたる者は其勞に依て加增の御沙汰を蒙り、倍高に家る者もあれば、三倍四倍の賞美に預り意外の出世をする者もあり、士卒人夫の末に至る迄恩賞を夫々受けぬ者はない、伊達家の家門隆盛になつたのは、是れが第一の原因で御座ります、此論功行賞の節に、決して功を衒ふ譯では有ませんが、梁川庄兵衛は主君に於かせられても定めて我を賞するに高祿を以てするであらう、然すれば部下の者も出世が出來る次第、部下の面々が粉骨碎身して働いた好果が顯はるゝと云ふ者だ、と待て居りましたが數日經つても何の沙汰がありませんから、寡欲淡白な八ですけれ共、平素祿を食んで眷族が三食を安んじ居るのは、一朝有事の時君公御馬前の働きを成すは、武士たる者の當然の本分、聊か恩賞の御沙汰のないのを、怨みはせぬが他の者には行賞が有て自分丈に何の御沙汰のないのは、審かしい……部下の者が如何にも氣の毒である、と漆庭周防が我功名を戰場日記を塗抹したとは、一向氣が付かぬから、快々として面白からず居りました、金烏玉兎の關守なく早や其年も經ちて、翌慶長六年九月十三日、今日は政宗侯家中一般の者を、靑葉山仙臺の城の大廣間へ集めて、後の觀月の宴を催されました、觀月の宴と云のは名で、畢竟主從閒隔して懇親の會を催したのです、平素上下和睦して置かなければ、有事の時に一致を缺く恐れがある、因て開いたのです、政宗侯は却々如才のない豪物ですから、一同に向かはれまして、政『今宵は一同の者、無禮講である銘々胸襟を開いて、充分に飲め、例外で有に依て身分等級などを區別するに及ばん、徹夜して差閊はない大に歡を盡せ』と仰せられる、上下隔を捨て、織居で飲初めた賑やかな事、不斷と違て面々が皆戰の話を仕て居る、凡て軍人は勇武活潑の風を貴ぶて置く事は、昔も今も變りは有ません、時に政宗侯、政『如何に面々想返せば去年九月廿三日、會津松川の戰は非常の苦戰で有つたが、汝等が粉骨碎身して忠節を盡し呉たるより、予も今日の寮を博し、其方等を同席して觀月の宴を催すと云のは、實に悅ばしく思ふ、其當時の働は一方ならぬ事であつたのう』一同『恐入ましたる御言葉、寸功もなき我々一同厚き御恩賞下し置かれ、誠に有難う存じまする、御主君の御家は萬々歲、我々一同謹んで祝し奉ります』政『誠に今日は愉快であるのう……、併し予が最も不審に存ずるは後の時の上杉勢の擧動である、味方は數日城攻め野戰さに一人として、身体疲勞せざる者なく、如何に勇を皷して働く共、衆寡敵し難く、彼れは三万五千の大軍、何れも新手の兵なれば、今一攻め激しく攻立られなば、味方一同は討死致さなければならん、危急の場合であつた、然るに劇に上杉家の本陣より引揚の號令を傳へ、備へを解いて引揚げたるは如何にも合點の行かぬ、景勝は死地に陷つたる我々を如何なる所存にて、扶けて急に引揚げたるか……、是まで數度の戰場に斯樣な事は曾てない事である、之れのみは今尙は不審に存ずる所ぢや』諸臣の諸士互に顏と顏とを見合せて、誰一人言葉を發する者はなかつた、



京城新報

大隈大伯と總督

吾人が率先して朝鮮總督と專任たらしむ可しと主張し、且又寺內伯が東上に際し專任となつて歸り來らむことを望みしは、今猶讀者の記臆に新たなる所なり。而して寺內伯は愈々專任總督となつて八日歸任せり、專任總督が任地に歸り來れるは素より當然の事なるを以て、吾人は伯の歸任に對し殊更に阿諛の辭を羅列するの必要を感ぜず。唯茲に吾人をして總督政治の將來に就て多少の注意を喚起せしめたるものあり。即ち寺內總督が歸任の途に上るの前日、早稻田に大隈大伯を訪問せし事是なり。寺內伯は武斷政治家の頭目として世人より目せらるゝ人なり、之れに反し大隈伯は在野政治家の頭目として、其一擧一動が世界の政治家實業家にまで注目されつゝあるは事新らしく吾人が吹聽する迄もなし。而かも早稻田大伯は夙に育英事業に着手し、國民敎育を鼓吹し以て我立憲政治の完美を期せむことに努む。此理想によつて政治の改善を畢生の目的となせる大隈伯の政治上の論議批評は一々時弊に中り在朝政治家の肺腑を抉り宗庸なからしむるものあり。爲めに武斷派と稱せらるゝ一派の政治家に喜ばれざるのみならず、此一派は早稻田伯を一敵國視して之に近づくを欲せず。然るに武斷政治家中の寺內伯が自ら進んで大隈邸を訪問したるは、實に近來の一奇事たらずんばあらず。吾人は其主義に於て其執る所に於て納鑿相容れざる此二頭目が相會して如何なる事を語りしか將た又寺內伯が半島統治上大隈伯の意見を聞く所ありしや否を知るを得されども從來の行懸り上より觀測して、此二伯の會合は決して無意味に終らざりしを想ふ。

大隈伯は半島統治に就て如何なる批評を加へつゝある乎。伯は毎に、不逞の徒は減少して半島の靜謐は保たれたる今日尚憲兵警察制度を存しをる日本が我領土經營上の低能なることを外に示すものなれば先づ憲兵警察制度を廢すの可なる事、朝鮮米の關税を撤廢するは半島產業開發の捷徑たる事、會社令を除いて起業を奬勵する事、個人の權利と福祉を尊重し之を侵害すること無き事等を論じ。且つ內地人の移住を奬勵するは獨り東拓會社のみを其局に當らしむるなく總督府亦之れが道を講ずるの急務なるを唱へ併せて東拓會社の無能を罵せり。殊に伯が最近紐育ヘラルド新聞の北京通信員オール氏と會しオール氏が「閣下には朝鮮に出でになりましたか」と尋ねしに「朝鮮には警察即決令あり、ウッかり出掛ると物騷だなどといつてフンブからるからコワイ」と笑ひながら答へ、爾氏の問に答へ「警察即決令の出た時半島統治の所置は常識に戻る」と云ひしは間違なき事なりと斷言せしが如き、何れも言簡なれども意味や深長、伯が憲兵警察制度の下に即決令が適當に運用されるや否やを憂ふるものあるを忖度するに難からざるなり。如此半島政治に對し無遠慮に評論を加へて憚らざる伯と所謂受身の地位に立てる寺內伯との會見が縱令政治上の意味を含まざりしにせよ、兩者の接近は頗る興味あるものと見ざるを得ず。若し吾人が想ふが如く兩者の會見にして無意味に終らざりしとすれば、半島統治の進歩或は之に因て端を開かれんか。吾人が寺內伯が大隈伯を訪問せるは、總督政治の將來に多少の注意を喚起せしむと言ひしも蓋し之れが爲なり。

外國特電

●伊土戰爭問題●

▲ア海戰鬪中止 羅馬來電に據れば伊國は墺國の抗議に依りアドリヤチツク海に於ける戰鬪を中止したり(伯林發)

▲伊軍無事上陸 トリポリー駐屯の土軍は內地に退却したりトリポリーに於ける土耳古要塞の開城は愈々確實にして伊太利軍は何等の抵抗を受けずして無事上陸したり(桑港發)

▲土司令官負傷 アルバニヤのメヂュヤ要塞は伊國の水雷驅逐艦砲擊し之を破壞し土國司令官を負傷せしめたり(桑港發)

▲土軍甚だ振はず サンジョヴアニーニチ伊土兩國艦隊會戰し非常なる激戰の結果土耳古水雷艇二隻擊沈されたり(羅馬發)

▲伊土海戰損害 ダンジオバー附近の海戰に於て土國水雷艇二隻は伊國軍艦に擊沈せられ多數の死傷者を出したり(伯林發)

▲伊國軍政を布く トリポリー來電に據れば土國は同地に於て軍政を組織しアルバニヤ人は之れに服從せり(伯林發)

▲土國の英船捕獲 土國艦隊はサロニカ附近に於て彈藥四十函を積載せる英國一商船を捕獲したり(路透發)

▲却て破壞さる 土國ホーデタ要塞及土國砲艦は伊國驅逐艦を砲擊したるも却て伊國軍艦の爲めに破壞せられたり(羅馬發)

▲希臘の動員 希臘國政府は墺國政府がエピラトに於て軍隊の動員を行ひたるに對し歩兵二大隊を動員せり(羅馬發)

東京電報

▲海軍大擴張費 今回海軍省の提出したる明年度豫算の內例の軍備擴張に關する新要求額は約三億五千萬圓にして內二億七千萬圓は戰艦七艘巡洋艦二艘何れも三萬噸程度の者又內八千萬圓は二等巡洋艦、驅逐艦、潛航艇其他小艇の製造費なるが七箇年繼續事業として一個年約五千萬圓要求しあり而して其製艦の一部は海外に注文さるゝ又老艦繫留の爲め節約し得る經費は艦体の大小に依りて一樣ならざるも大型艦にて約三十萬圓位節約となる可しと

▲江藤幹事渡鮮 政友會幹事江藤哲藏氏は十日頃東京出發約三週間の豫定にて渡鮮す

雜報

●寺內總督歸着 寺內總督一行は豫定の如く途中迄出迎したる大屋長官、明石司令官、古城民長、中山大佐、藤波通譯官朝鮮貴族等と共に臨時列車にて八日午後四時十分南大門驛着歸任したり停車場には昌德、德壽兩宮の御使、李埈公、山縣總監、各部局長官各國領事宣敎師其他文武官民多數の出迎へあり

●總督の滯京期 八日歸任したる寺內總督は來る十一月五日頃まで留守中の政務及來年度豫算に伴ふ中央地方の施政方針を定めたる上十一月福岡縣下に舉行の大演習に參列の爲め同月七日頃當地出發馬關にて鳳輦を迎へ陪從して演習地に赴き終了後は直ちに東上し明年度豫算案就き先着の荒井長官と共に中央政府に交渉を爲す筈なり

●政務狀況報告 山縣政務總監は九日總督官邸に於て寺內總督に留守中の政務に關し種々報告及協議する處ありたり

●總督の政務聽取 寺內總督には十日より總督府に登廳し定例長官會議に臨席の上各部長官より留守中の政務を聽取し都合によりては總督府來年度豫算案を審議すべしと

●總督邸晩餐會 寺內總督には八日午後六時半より同官邸に上田軍司令官、山縣政務總監、松永師團長、石塚、大屋、荒井、池田、菊池の各部局長官、明石司令官、外波少將、兒玉局長、中山大佐、藤波通譯官等を招待し晩餐の饗應ありたり

●總督の兩宮伺候 寺內總督は一兩日中昌德德壽の兩宮に伺候し歸任の挨拶を述べらるゝ筈なり

●鹽務規則立案 鹽務に關する諸規程は從來韓國政府時代に制定發布せし者を其儘目下適用中なるが稍不便の點少なからざるを以て當局者に於ては目下改正規則立案中なりと

●駐鮮師團決定 交代 朝鮮駐劄第二師團は明年四月を以て歸還の筈なるを以て其交代師團は愈々第八師團と決定し過般陸軍大臣より山根師團長に對し其命を下したるが近々上奏御裁可を仰ぎ正式に下命あるべしと云ふ因に山根師團長は三十七八年役の當時鐵道監督として京仁の間に在り朝鮮に由緣深き人なりと

民團税制調査案(二)

民會議員 皆川廣濟氏談

▲土地税 從來所定の地價及其の税率は共に適當ならず地税の性質と時勢の要求に順應せしむるには地價を修正して時價の二割を減じたるものを課税標準の地價とし之れに對する年額百分の三を課するを要す

▲建物税 建物に課税するは財政學上民團現時の情勢上又徵税の便易なる點に於て最も適當なるものとす即ち建物の坪數及び地位の等級に應じ一坪年額二十五錢以上一圓五十錢以內の範圍に於て税率を課するを可とす

▲戶別税 從來の戶別税は當局の臆測認定に從ふの弊害あるを以て之れを改正して貧富均一の戶税となすを適當とす即ち一戶年額二圓を課する事に定むること

▲收入税 收入年額五百圓を越ふるものゝ收入に對しては年額千分の十五以上百五十にいたる範圍に於て適當なる累進税率を設くるを要す又各人税額の適用に就ては大体に於て母國の所得税法を準用するを可とす即ち納税義務者の屆出及び調查機關等に依るものとす要するに收入に比準して課税するは學理上實際上最も適當とする所なり

▲雜種税 從來の雜種税中左の各種を存じ其の他は總て之れを廢止するを可とす

料理店、待合茶屋、芝居茶屋、遊戲場、諸興行場、劵番、一種及二種藝妓、仲居(旅、宿及飲食店に在るものを除く)酌婦、遊藝師匠、遊藝稼人、諸興行、寄席、遊覽所、相撲、俳優、割烹

而して雜種税は或る贅澤に屬する業体又は娛樂に屬する業体に依り特種の收益あるものに止め從來所定の如き他の營業者に之を課せざるは他税種との重複を避けんがためなり

▲營業税 營業税は收入税との重複を避けんが爲に之れを廢止することとす

▲地價自然增加税 土地所有者の加工に原因せざる地價の騰貴に就ては所有權取得當時の地價を扣除したる殘部の地價に對する百分の三十を所有權移轉の時に於て課税することとなるが右は學理實際共に最も適當なる税課也と信ず

▲相續税 家督相續遺產相續及び其の他之れと同視すべき無償の財產權取得に對して價格百分の十五以上五十にいたる範圍に於て累進税率を設けて之を賦課することとす因に地價自然增加税及び本税は臨時收入の部なりとす

●明太漁と內地人 咸鏡南北道沿岸に產する明太魚は朝鮮に於ける水產物として其需要の多きと產額の大なるに於て有名なるが其漁業は鮮人の事業にして內地人の從事するもの少なきは遺憾の次第なるも該魚の漁獲期は嚴寒の期節なるを以て內地人は鮮人の如く防寒設備に於て十分ならず加ふるに從來漁場、漁獲法等鮮人が慣熟し居れるを以て此際內地人が該漁に從事せんとするには新規なる漁獲法を研究し又漁場をも發見し其他防寒の準備等十分にせざれば到底鮮人と競爭する事能はざるべしとの事なり

●國有漁場の調査 國有漁場の調査は農商工部水產課に於て前年來部員を出張せしめ實地視察せしめつゝありしが咸鏡南道の東海岸及全羅、忠淸、京畿各道の西海岸は既に全部終了し漁業出願處分に關しては目下處理中の由にして其他慶尙南北道は各調查員の一行本月十日乃至二十日に至る期間に歸任すべきを以て其後に於て處分に着手する筈なりと云ふ

●岡崎遠光氏の財界談 桂藏相の人爲的金融政策は昨年の今頃未曾有の緩漫を呈し大藏證券の利子凡厘なりしもの今日五厘高の一錢三厘を以て賣出すも猶日銀の庫中を出でざる有樣にて日銀利子も去月末を以て二厘引上げて最低一錢五厘を唱ふるに至れり、然し乍ら余の見る處を以てすれば四歩利公債維持の爲一切の事を犧牲に供し既に數ケ月前に上ぐ可からざりしものを新內閣に及んで漸く實施したるやの觀ありて之が爲に供したる犧牲なるものは通貨の膨脹てふ事にして甚だ大害を貽したり、關税改正の結果見越輸入の盛なるべきを傍觀しつゝ四歩利償の價格を掛念して金利引上を爲さゞりしが爲に輸入の著しき增加を來し又一方にては通貨膨脹は物價騰貴の原因をなし既に重税により騰貴を示せる一般物價を一層上せ同時に輸入を刺戟し層々相重なりて輸入超過九千五百萬圓之に對し金貨輸出千九百萬圓其差額七千六百萬圓は在外資金と稱するものゝ內より支拂はれたるならんが爲に兌換の基礎は脅迫されつゝあつて通貨縮小は今は絶對不可避の條案たらざるを得ざる有樣なり、而して之に對し今頃漸く金利僅に二厘を引上げて調節に當らんとするも既に遲し生糸貿易は續々回收され輸入も一段落を告げたる今日禍機を未然に防ぎたりとす可からず、威人は日銀利子二厘の引上げを以て高きに失すとなす由なるも是は世界的趨勢を察せざるの言也、英國銀行及獨逸帝國銀行は昨年に比し今年一歩の高率を維持す此一歩は日歩に換算せば二厘七毛に當り約三厘高のわけなり、然かも此引上げはモロッコ問題よりも寧ろ秋季農作取入と國際資金の移動とに由り來る例年の引上にて異狀とすべからざるに我國の現狀は通貨縮少てふ特別任務を帶べる引上なれば之を高きに失すとなすは頗る迂愚の言なり、近頃農商務省が物價騰貴の原因を貨財仲介者の多數に歸し居る由なるが取引方法の繁雜が近年急に汎行せられたる爲にや愚も亦甚まれりとすべし云々

●長距離電話開通延期 十日より開通の筈なりし京釜間新設長距離電話は京城大阪間及京城馬關間の電信線に故障を生じたる爲め應急の策として新設電話線を使用したる爲め遂に開通の試驗を中止したりしも電信線の故障も一兩日に修理さるゝ由なれば右修理次第に再試驗を行ひ開通を見るに至るべしと云ふ

●人蔘收納狀況視察 岡野大坂朝日横尾時事の兩特派員及び峯岸本社長の三氏は人蔘收納の狀況視察及び探勝の爲め七日開城に赴きたるが八日夜歸京したり

●朝日新聞又押收 五日發行東京朝日新聞第九〇三九號は治安に妨害ありとして移入を禁示されたり

●水道の掃除斷水 新村なる水道配水池掃除の爲め十日午前二時より同五時迄斷水する由なれば人々注意すべし

●德富氏と御用紙 德富猪一郎氏御用紙京城日報社を引受けて茲に一年印刷機の入替家屋の增築等發展の跡歷々たる次第なるが如何なる故にや同社近來の金融難は非常なるものにて已に同社の深水營業主任の如きは去る八月中に於て辭任を申出たるに付き [illegible] 中に來京し此際 [illegible] を三分一減ずべしとの事なり

●釋宗演師來鮮 [illegible] 大和尚として有名なる [illegible] 十月頃出發渡鮮 [illegible] 城着は多分十四日 [illegible] にては朝鮮銀行の [illegible] べしと

●司令部水道 [illegible] 令部の水道工事は [illegible] 施工中なりしが [illegible] 三百圓の內二百五 [illegible] 時線全部 [illegible] 管埋設を了し八時 [illegible] 据付も終了したる [illegible] 時より以上の分に [illegible] 由 [illegible] も十一月末にて [illegible]

●東部事務所 [illegible] 如く京城五部聯合 [illegible] 務所は一切の工事 [illegible] 成すべく [illegible] るが場所は東部 [illegible]

●岡野荒木兩 [illegible] 日新聞特派員 [illegible] ては岡野告天子 [illegible] 日午後花月に招 [illegible]

●民會の決算審查 [illegible] 續き九日午後三時 [illegible] 査委員會を開け [illegible] 催す

●本年の初霜氷 [illegible] 京城氣溫は華氏 [illegible] て昨年同日に比し [illegible] 低氣なり然して [illegible] 氷の氣溫にて本 [illegible] 年頃は去る五日 [illegible] 昨年同日に比し [illegible]

●修學旅行 [illegible] 師範學校內地修學旅行團の [illegible] 名は愈々十日午前 [illegible]

●宇佐美長官 [illegible] に就く筈なり

●荒木貞雄氏の [illegible] 視察の爲め出張 [illegible] 長官は八日午後 [illegible]

●檜垣道長官 [illegible] 任朝日新聞特派 [illegible] 七日入京旭町一 [illegible]

● [illegible] 事諮問會へ臨席 [illegible] 八日午後七時 [illegible]

●藥師川隊長の [illegible] 兵隊長は過般來 [illegible] 後八時歸任せり

▲茶袋▼

[illegible]

京城手形交換高

[illegible]



チャンピオン傳(二)

南部署長警視 今村 鞆君

朝鮮總督府警視南部署長正七位勳七等今村鞆と云ふと極めて恐ろしい閻魔樣の樣な人物を聯想されるが實は然らずである、體格に相應して顏も隨分大きい、其大きい面相は決して恐ろしい相ではない、此は最も御贔負の當人今村君其人の眼から見ても左樣であらうと信ずる、若し今村君にして「否」と云ふならば开は自惚れが手傳つて居るからである、然り決して怖られ相ではないが其大きな顏の何所にか云ひ知れぬ親し味、温味、柔か味がある、即ち好かれ相と迄は行かずとも衆個して居る、聞いて恐ろし相な今村君は逢ふて見ると極めてスペッコイ方であるのだ、君は鮮の習慣制度通であることは警察官中で有數な朝鮮習慣制度通であること、其の能文とは餘りに廣く知れ亘つた事實であるから此方は札預りとして置く、然らば何のチャンピオンとして推擧したかと云ふと、他では御座らぬ官煙「朝日」愛飲者中のチャンピオンとしてゞあるのだ、君は京城でも有數な讀書家である、其筆を呵するや千言萬語立所に成ると云ふのも畢竟するに書を讀むからである、其好きな書を讀むにも文を草するにも又取調物をするにも、斷訴聽訟の公事に從ふ時の他は曾つて官煙「朝日」を其口から放した事がない、君の顏は泉岳寺の義士墓前の線香立て同樣何時でも煙の絶ねた事はない、君のは煙草を吸うのでなくて寧ろ食うと云ふ方が適當であらう、而して他人には敷島を薦めて自分は何時でも朝日である而して散歩にでも出る時に一寸袂や懷中へ捻ち込んで行くにしてが二十本入七個より十個に上るのだ平服の際其袂や懷中が無格好に膨れ上つてるのは其爲めである、斯る際は自宅から一遍火を點けて出た其火は自宅へ戻る迄決して消れない次から次へと連綿として絶ゆざる事樓の如しで、恰も秋葉山の常夜燈の如きものである、だから一日の消費力優に平均一日二十本入二十個、上に出ると云ふのだから勿驚であらう、一日に二十本入二十個四百本價格にしても一圓だ、年に積ると三百六十五圓、眞に「朝日」愛飲者中のチャンピオンたるに愧づる所はあるまい(完)

●李完用伯訴へらる

▽土地所有權確認引渡請求

京畿道通津郡率城面石灘里六統一戸權喜善は李完用伯を相手取り土地所有權確認及引渡請求の訴訟を京城地方裁判所仁川支部に提起せり原告側請求の目的は通津郡率城面石灘里所在畓十六斗落同畓坪八十七斗落以上見積價格か千圓は原告權喜善の先父時代より所有するものにして明治四十二年五月頃閔總權魚浩善、權永奎、閔庚斗は其の隣右の畓坪長さ約七里幅四里を實買の際原告權の所有前記の土地を包含測量し李完用に賣渡したるものにて被告は自己のものとして既に占有し居り然して其後右の事實を聞知したる故に原告より被告に對し前記の土地を明確に原告の所有なる事の證憑書類等を示し其の引渡し方を請求せるに被告は其の情を知りながら遂に應ぜざるにより遂に裁判所に訴訟を提起したる次第なりと云ふ

●娼妓虐待の風聞

▽果して事實なるか

娼妓待遇上に關しては各遊廓樓主連に對し曩て南部署長より嚴重訓示する所ありし爾來冷遇とか虐待とか云ふ事を耳にせざりしに近日に至り新町大和新地の元祿樓、榮月樓、日進樓の娼妓取扱方に就き面白からぬ噂を耳にしたり元來大和新地の方は舊遊廓側と違ひ市中に散在したるものを集中されたるものにて夫れと同時に抱ゐ酌婦又は仲居の鑑札を有したるものは其既得權を尊重して親權者の承諾の有無に拘はらず第二種藝妓鑑札を下附せられたる者にして多くは他の誘拐に依り心ならずも僅の借財に縛られて娼賣に從事せるものなれば其前借金の如き少きは二三十圓より五六十圓を出でず飲妓女の前借に劣る程なりと、茲に元祿樓の娼妓藝名出良之助、れかると云ふ兩名は元西小門通り某料理店に酌婦稼業中なりしに同家は本年六月十八日限り廢業せしより現在の元祿樓に鞍替へしたる者にて當時前借元金七十餘圓なりしが口入屋への手數及雜費其他小遣錢の借增等をなしたる爲め百二三十圓となりたり而して其辯濟方法は病氣治療費、稅金、化粧品、部屋代等一切樓主持ちにして一ヶ月の給料を金十圓とし之れを辨濟金に充つると云ふ契約なりしかば同人等は十二三ヶ月せば自由の身と成ることと思ひ居しに移轉後樓主は遊廓組合規則なりとて前契約は一も履行せず總て服藥料、稅金、化粧品等一切同人等に負擔せしむるのみか仕込む際增借せし小遣錢十五圓と云ふものは未だに渡さぬ上に同人等の所持品を入質し其金は費消する然れば同人等は郵便切手さへ買へぬ始末に外出の際所持の洋傘を入質して郷里へ音信をなし居る位なり其食事の如きは豚同樣にて入院の際なぞ各樓の娼妓の面前にても到底恥かしくて食べられたものに非ずとか此取扱方は三樓とも大概同一なりと、果して僞ならば大問題なり

●千葉丸船長斬らる

▽加害者は泥醉せる船員

仁川秋田商會所有船千葉丸は去七日鎭南浦出帆間際に雇傭人濟州島生れ吳審房(二十六)が泥醉し容易に乘船せざるより船長松尾竹松(四十二)は大に怒り彼を置去りにし出帆せんとせしに吳は突然出刃庖丁を持來り松尾に斬付け重傷を負はしめし騷ぎに吳は直ちに同所憲兵隊に引渡され松尾は仁川小倉病院に入院治療中なりと云ふ

●中檢番の記錄破

從來中券番は料理店抱內藝妓のみにて一般組合以外の料理店は勿論組合內にても家によりては妓の融通を成さゞりしが今度同檢番より自前にて現はれたる鯉事本名酒井きよ(二七)は此記錄を破りて花月、翠、松葉、井門、清華、有明等の眼合料亭は申すに及ばず白水、万千閣、初音、高田屋、翰蒼軒等何方よりの招きにも應ずる事京城檢同樣極めて手輕に罷り出でゝ御用を承はるべしと爾同人は東京芳町、大阪北の新地、宇都宮等にて左褄を取り居たる極めて場慣れたる女なり猶其れ鯉と名乘る原因に至りては日を更めて御披露申すべし

●仁川秋季大運動會

仁川民團立各學校秋季聯合大運動會は已報の如く八日午前九時觀測所下の會場にて轟然たる花火を合圖に開始せられたり會場の周圍には紅白の幔幕を廻らし竿頭高く各國旗は秋風に飜り一層天高馬肥の感を深からしめぬ會場の內外には數百の桟敷あり其他毛布を布き並べ見物し居る者實に五千余人當日は兒童の父兄を初め市中一般休業參觀の狀態なりき午後四時無事閉會を告げ空前の盛會なりき

●運動會場の捕物

原籍福井縣今立郡北新庄村大字中新庄平民戸主當時仁川新町二丁目指物屋福島房雄(二三)は去月中京城中部小笠洞建具職關三男方に雇はれ居る際三男より建具材料買入方の命を受け十五圓を託されしに該金を懷中し龍山桃山榮福樓に登樓し千代吉拍子を敵娼に大浮れをなし全部費消し其儘仁川に來り何喰はぬ顏で居りしが八日運動會見物中坂下今井の兩刑事に捕へられ目下取調中

●遺る物は早くせよ

鑑職佐藤貞三郎なる者昨年十二月三十一日夜京城漢芝面普光里李元浩方火災の際隣家の老婦一分遲くるれば燒死す可く危險なるを救助し又消防に盡力したる効目覺しかりしとて其筋より賞與金下賜せられたるも住所不明の爲め目下各警察に住所取調捜査中なりと

●公判二件

田中留吉秋山吉之助の恐喝取財は九日午前九時より京城地方裁判所に於て公判開廷せられ辯護人として木尾岡田の兩辯護士出廷元農工銀行仁川支店長小橋薫外一名の橫領罪は辯護人岡田高橋兩辯護士出廷何れも辯論終決言渡は次回開廷日と決定したり

●助平な大工さん

鳥取縣西伯郡開吉村當時西部貞洞居住大工職元井兵太郎(四三)は八日午後四時半頃銘酊して隣家の淸國人陳供亭(十七)の姉が洗濯中に出齒鑑式を發揮せんとしたるを陳供亭が認め喧嘩を初め警察に持出し說諭放免

●自轉車屋の拘留

長谷川町一丁目四十九番戸自轉車販賣業比田信鎭(二三)は八日午後五時四十五分頃本町一丁目江戸口商店に至り暴言を吐き營業妨害を爲し拘留三日に即決さる



●浮浪者拘留さる

山口縣大津郡仙崎村生れ立野庄一(二三)は一定の住所職業なく諸所を徘徊し浮浪罪として拘留五日に即決

西洋商話

陳列窓の內に謎の課題

一風變つた玩具屋が小供達を喜はせて一景氣附けんものと、面白い謎を數多考へ置きて、倍愈々珍趣向の幕開きと云ふ數日前に、附近の學校の門前にて是れも意匠尋常ならざる引札を配布し來る何月何日より向ふ十五日の間必ず弊店の店前を見逃し給ふ勿れ、毎日面白い謎か順繰りに現はれ申すべく、正解者中より百名を抽籤にて相定め、新發賣の新案玩具一個宛呈上仕るべしとやつて見事に大當りを取つた

●演藝だより

▲壽座 十日の代り狂言は九日に同じく東京報知新聞連載の「奇縁」(前號續●木とした丈け誤り)全十場にして一行が最も得意の出し物なり 百姓久右衛門(内田)姉川れとよ(松下)梶田賢作(藤野)戸川家令妹つゆ子(藤田)賢作母、梶田れ重(深津)久右衛門娘れみや、澁谷平造(後藤)

▲歌舞伎座 エムパテーの活動寫眞にて破格の勉強に毎夜大入を續け居れり

▲御成座 片岡鶴之助一座の浪花節芝居十日の代り狂言は前「吾妻の春駒」觀音丹次」にして切は「赤垣源藏德利の別れ」なりと

▲浪花館 吉川今勝十日の讀物は軍學探偵、血染のハンケチの長講二席他は前日來の讀み續きなりと

日本官製煙草大賣出
景品一千圓
敷島 大和 芙蓉 朝日
九月十九日より十月三十日迄

●新町高野山別院の三十分(三)

白面子

十月十一日午後五時

正法に不思議なし、元來れ御籤を頂く本人は白面子である、其白面子の靈が顯はれて初めから浮き調子であるのだから異は面目なれ御籤の出る譯はなからう、と思へば獨り可笑しさに微笑まれる、斯くされるとは知らう樣なき和尚は抽き出したれ御籤を眺めてサイらしく首を傾けて居たが頓て白面子の方へ向き直つた「疑は晴らさねば罪ですよ、貴所はトッ四月二十一日に結婚されてから約二十日以上も同棲されたのだ、デ胤の宿つたのは五月十日頃です、貴所の子であることは、明白で分娩は來年一月下旬か二月上旬です而して御籤の上から見ると男の兒です」と、實に明瞭なものだが明瞭な程夫れ程間違つて居るのだから、面白い、能もよくも間違つたものだ、和尚は更に言葉を續けて「れ大切になさらぬと不可ませんよ、御祈禱をしたら病氣は癒ります」と云ふ「御祈禱を願ふと病氣が癒りますれば一つれ願い致しますが如何樣すれば宜しう御座いましようか」と乘氣になつて尋ねると「妻君の禱袢を五日間れ預り致しましよう、而して毎日御祈禱する夫れを着せたら乾度全快する」と云ふ、何と諸君天道樣は恐ろしいものだ、何故かと云へば僕が何の氣なしに懷中に入れて行つた襦袢が役に立つと云ふのは天運和尚を惡み玉ふの結果ではあるまいか、僕は早速懷中から例の借物の襦袢、袖は縮緬で胴は白モスの洗濯した斗りのものを取出して和尚に渡した、天勝以上の大奇術だ「祈禱するに種入々用のものがあるから、實費として五六十錢必要です」と云ふから即ち六十錢を渡して「何分宜しく特別に願ひます……所で何か頂かせる御供米の如なものは有りませんかしら」と頗る蠻式な音を吹くと和尚さん徐に立上つて御佛前から何やら白紙に包んだものを取り下して來て僕の前に調げて「此は御本山のれ砂です此を二三四粒づゝ南無遍照金剛と三遍唱へて怠らず戴けば病氣は輕くなります」と云ふ、見るとパン粉程もない小い砂だ「大師樣を信じて居れば醫者は不用ですか」と訊く「イヤ左樣ぢやない醫藥の早く廻る樣に大師を信じなさい」御尤の事を云ふ「デは此れ砂を飮せると邪熱は減退ますか」と尋ねると「直に退きます」と餘程確に答へる「夫れでは襦袢へ御祈禱をれ願ひ致し升五日の午後五時頃迄に伺ひますから、大きに有難う御座いました」と一禮に及んで立ち出で樣とする所へ來た四十五六の男の參詣人が和尚に向つて「ヤア此頃は飮れますか酒は此からですよ」と言ると和尚ニコ〳〵もので「大きに左樣です、マ、彼所(住家)へれ廻り下さい、久し振りに大いに飮りますから」と僕の方は棄て置いて奥の方へ引つ込んで行つた、アノ調子では御祈禱も怪しいものだと思ひつゝ歸途に就いた(一日の分終り)

荻田悅造妻利子義病氣の處養生不相叶九日午後三時總督府醫院に於て死去致候此段辱知諸君に付て御通知申上候
葬式の儀は追て御通知可申上候
明治四十四年十月十日
男 荻田保
親戚總代 堀內鶴雄
速水健治郎
友人總代 石塚英藏
俵孫一
伯爵 兒玉秀雄

●諸公債諸株券現物賣買、迅速確實に御取扱可申候
兼業
洋服裁縫
官衙御用達
京城本町三丁目
大阪野村德七代理店
田中友吉商店　電話九九三　電略（ク）

早稻田大學講義録

新學年開始

▲各科第壹號發行▼

見本つき規則無代送呈

政治經濟科講義
法律科講義
文學科講義

各科十八ヶ月卒業

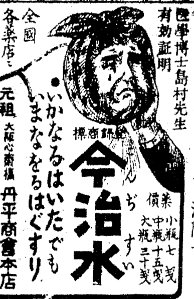
早稻田中學講義　貳年卒業
早稻田商業講義　壹年半卒業

上記二種の講義録は本年四月新學期を開始せるが此際の入學者には毎月學費を分納せしめ第壹號より發送すべし又他に速成の便法あり

詳細規則送呈

東京牛込早稻田　早稻田大學出版部　振替東京一一一二三

▲今治水塗ずに便を圖り徳用十錢瓶を新製しピンセット及消毒綿替キルクを添附せり
醫學博士島村先生有効証明



●いかなるはいたでもいまなをるはぐすり
登録商標　今治水
小瓶七戔　中瓶十五戔　大瓶三十戔
全國各藥店に取次販賣す
元祖　大阪心齋橋　丹平商會本店
本舗　東京銀座町　丹平商會支店

○東京勸業博覽會　褒狀受領
○東京勸業協會製品々評會　賞牌受領



御箪笥各種

御婚禮道具一式
右御注文品御好に應じ精々大勉強確實堅固に出荷仕候間御用命仰付被下度候
營業案内御入用の節は御申越被下度候
東京市日本橋區小傳馬町一丁目
上初箪笥店
京城旭町四丁目廿四
特約店　田中初五郎
乙見商會
牧茂

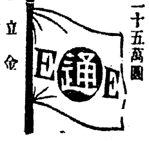


完全なる懐中藥
優秀なる口中香劑
JINTAN
仁丹

は●精神を快活に、胃腸を強健に食事を進め
酒タバコの毒をけし味を増す
諸君欠さず御服用あれ

朝鮮代理店
京城新井藥房

（創立明治五年六月）



資本金　百二十五萬圓
積立金　六十萬七千圓

貨物運送取扱
危險擔保運送
貨物引換證發行
品代金貨物取扱
税關貨物取扱

內國通運株式會社京城支店　電話長一七〇九、七〇八、一二五
本店　東京市日本橋區佐内町三番地
支店　京城南大門驛前
釜山驛前　釜山出張所　電話三五七、九〇四
草梁驛前　草梁出張所　電話六一六
仁川驛前　仁川出張所　電話長二一八、五一一
龍山驛前　龍山派出所　電話二〇六
平壤驛前　平壤出張所　電話長一一六

やまとたび

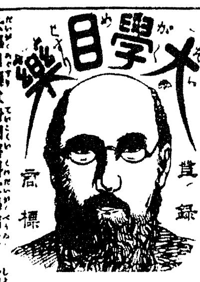
大阪靱通二丁目
岸田本店
京城本町二丁目
岸田商店

手軽産兒院
入院料一日五十錢但し手傳料包含す患者の希望に因り自炊するものには一室を貸與す
患者の遠近に不拘御招きに可應候
主任　産婆　三池鶴代
西部新橋通り元州崎宮跡
電話一四八九

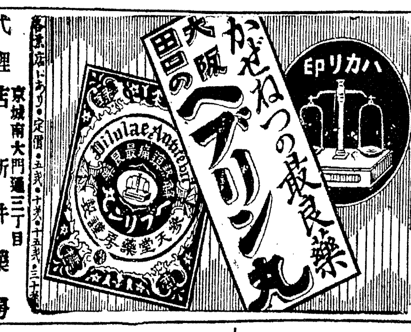
名譽銀牌受領
キリンビール

M.C.C.

土耳古紙巻
エムシーシー
專賣局定價は百本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣
京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店



學目藥
登録商標
●かれこれと迷ふこと勿れ完全無缺の大學目藥あり
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●爛目●のぼせ目●かすみ目●血目●疲目其他眼病一切に可驚奇効あり
發行所　大阪市北濱一丁目　ヘプリン丸元祖　參天堂藥房



各藥店にあり●定價●五戔●十戔●十五戔●三十戔
代理店　京城南大門通三丁目　新井藥房
電話九〇四番一〇六八
振替口座京城十六番

小兒かんむしの良藥
効能
○ひかん○むしけ○ちゝあまし○ひきつけ○ねあせ○ちばなれ○かべつちをかむ○かほてあしつりなどに大効あり



價五錢●十錢●二十錢●五十錢
本舗　大阪堂島蜆橋　高橋盛大堂藥局
全國到る所の藥店に販賣す
代理店　京城本町五丁目　木下大盛堂
同　南大門通三丁目　新井藥房

京割烹
弦齋流
すゞ祢
南山町一丁目
電話千五百二番

猥りに村井弦齋先生を利用する類似品あり
注意
本品外の●村井先生の實驗證明せられたるものなし
村井弦齋先生實驗證明●糠精●と命名せらる
かつけ心臓病　腸胃特効食料　糠精
證明書
尾崎兄弟飼禽場ニ於テ試驗ノ結果尾崎氏製糠精ノ脚氣心臓胃病ニ偉効アルコトヲ證明ス
明治四十三年六月一日　陸軍二等軍醫正ドクトル　都築甚之助印
●製造發賣元東京京中澁谷尾崎兄弟飼禽場●各府縣藥舖食料品店にあり
販賣元　東京麻布霞町宮崎商會藥舖　大阪出張所　大阪北區堂島船大工町一
特約店　京城本町三丁目　振替口座朝鮮二七番　電話二一七番　龜屋商店
同　釜山辨天町二丁目　振替口座東京九五一五番（電話三三九番）　福榮商店

米公株
相場高低表電話日報及店員を派遣して御知らせ致します
京城古市町（南大門停車場前）
米穀有價證券現物問屋
合名會社　柴山組
電話一二九八増設電話一六八八番

轉ばぬ先の杖＝病まぬ前の養生
是れに過ぎたる賢良の策なし
蜂印香竄葡萄酒は
醇良佳味醫學上最善の滋養衞生劑
金銀最高賞牌廿四個を有し進歩的鑑識ある上流社會は爭ふて愛用せらる
朝夕之れを飲用せば體力元氣旺盛となり仕事は愉快に家庭は幸福！
要は唯だ速時實行せらるゝに在り



賣捌元　東京日本橋區本町二丁目　近藤利兵衞

京城明治町一丁目（森、村質店隣）
榊齒術所
電話は（六六六九番）へ

日本政府檢定濟
度量衡器特許輸入販賣所
文房具
和洋紙
測量器械
シノサキ本店
京城本町一丁目（郵便局前）
電話七百五番
電話長六四八番
振替口座朝鮮一五四番

牛馬犬猫
治療所
入院隨意
京城明治町三丁目
院長　小川龜太郎
小川家畜醫院
電話四二七番

★株式會社百三十銀行京城支店
電話百九十四番
振替貯金口座一五十八番
一一三番
資本金五百萬圓
頭取　安田善三郎
爲替取組先
畿內　大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、佳吉、御影
東海道　東京、横濱、大阪、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、宇田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪千葉
東山道　彦根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、伊勢崎、長野、高崎、前橋、若松、福島、秋田、能代、土崎、青森、仙台、北方、加納
北陸道　小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟
山陰道　宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、太田、倉吉
山陽道　姫路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、柄、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、防府、山口、德山、萩、長府
南海道　小月、下之關、明石、津山、阿知須、和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、坂出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、吉田、洲本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養
西海道　郡中、門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、坪井、宮崎、入幡、小倉、中津、行橋、神崎
北海道　小樽、函館、札幌、旭川
臺灣　臺北、臺南、
樺太　太泊、
朝鮮　仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晉州、馬山、大邱、羅南、新義州、城津、開城、清州、大田、金泉
清國　安東縣、大連、營口、奉天、旅順
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

磨擦白米
龍山精米所
京城米倉町
電話一二一番

入院隨意
京城壽町三丁目（電話三七八番）
中島醫院
院主醫學得業士　中島貞信

㊎定期出帆
美江公州間
美江發每日後一時四十分公州着後六時
公州發每日前七時美江着後四時半
御客様の娯樂用として新聞雑誌碁將棋盤等の備付あり
京釜美江驛前　中條運送美江支店

㋖瀛船出帆廣告
十月中
安東丸　屯串行　十月日前七時
天草丸　海州行　十月日前三時
成歡丸　喬島行　十月日前二時
海利丸　海州行　十月日前四時
成歡丸　大湖芝行　十月十日前九時
仁川本町四丁目電話一七三番七五〇
合資會社秋田商會船舶部